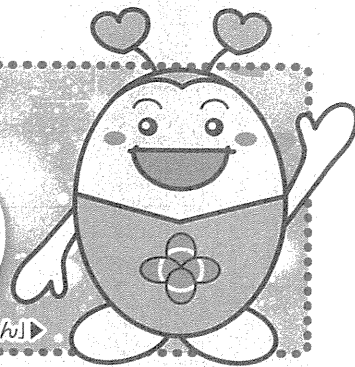


第72号 令和2年9月発行

ボランティアだより

大分市社会福祉協議会マスコットキャラクター 愛称「ふくしのヒロロちゃん」▶



令和2年 7月豪雨

地域を支える災害ボランティア

日田市や由布市、熊本県人吉市など県内外で大きな被害をもたらした7月豪雨では、この大分市においても計195棟の住家被害がありました。

特に、八幡地区では祓川が氾濫して30世帯以上の住家で浸水被害があり、連日多くのボランティアの方々が参加し、生活復旧に向けた支援活動を行いました。



期 間	7月12日～8月8日
活 動 依 頼 数	24住家
活 動 件 数	46件
ボランティア数	延べ449名
主な活動内容	家財道具の移動、清掃 災害廃棄物の搬出 家屋内の畳上げ 床下の泥出し 他



今回の被災者支援活動は、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、大分市ボランティアセンターに登録している災害ボランティアの方々の協力を得て行いました。また、地域の方々や企業・団体の皆様からも様々な支援をいただきました。ご協力、ご支援いただいた皆様方、大変ありがとうございました。

登録募集中!

大分市災害
ボランティア

災害ボランティア登録制度は、災害ボランティアとしてご協力いただける市民の方に事前登録をもらい、研修や訓練などを通じて、本市の災害時のボランティア活動を担ってもらおうとするものです。皆さまの登録をお待ちしています。

ボランティアセンター事業 ～今、コロナ禍の中で～

新型コロナウイルス感染の終息がなかなか見えない中、ボランティアの皆様には、それぞれの活動に大変苦慮されていることと思います。ボランティアセンターでも一部事業を中止や延期しており、市民、関係者の皆様には大変申し訳ありませんが、何とぞご理解をお願いいたします。

現在、感染防止対策に注意しながら、延期になっている事業の実施や、窓口でのボランティア登録・保険加入など、ボランティアの活動支援や育成などの取り組みを徐々に進めています。ご協力よろしくお願いします。

大分市社協 ボランティアセンター事業

継続中または実施予定です

講座・体験

- ◎点訳ボランティア養成講座では、開講を2ヵ月延期し、6月から少人数で実施しています。
- ◎朗読ボランティア養成講座は、開講を1ヵ月延期し、10月から会場と定員を変更して開講します。
- 施設ボランティア体験は、原則として紹介を見合わせています。

福祉学習講座

- ◎小中学校対象の車いすや手話などの体験講座は、3ヵ月延期して9月から行います。

その他

- 「ボランティア活動をしたい」「ボランティアをお願いしたい」など、活動紹介や各種の相談・問い合わせ。
- ボランティア登録、ボランティア活動保険の加入の受付。
★新型コロナウイルス感染症も補償対象です。
- 車いす貸出し、使用切手・書き損じはがきなどの受付など

中止（延期）になりました

- 夏のボランティア体験月間（詳細は4面にて）
- 街頭募金活動（大分市共同募金委員会主催、10月2日～7日中止）
- 第17回大分県ボランティア・NPO推進大会（大分県社協、10月14日から3年2月9日に延期）

第51回大分市社会福祉大会のお知らせ

日時／11月18日（水）午後1～2時 場所／J:COMホルトホール大分 大ホール
参加／新型コロナウイルス感染予防対策のため表彰関係者のみで実施します

大分市ボランティア連絡協議会からのお知らせ

会長 幸 紀人

- ◆5月総会は書面決議としました。ご承認ありがとうございました。本年度もご協力をお願いいたします。
- ◆年3回の研修会を中止します。「3密」を避け、7月に続き、11月・3月予定の研修会も中止いたします。
- ◆新たに、「会員の活動寄稿文集」を作る予定です。その節はご協力をお願いします。



「大分市ボランティア連絡協議会」のホームページができました！ コロナ禍で思うようにボランティア活動ができないことと思います。ボランティア相互の情報交換の場として活用していただけるよう、ボラ連の役員さんのお力で、ホームページを立ち上げていただきました。ツイッターへの書き込み、ボランティアグループさんの活動告知、ホームページへのリンク貼り付けなどに活用してください。ぜひ！ ご覧ください。

<https://oitacityvcc.wixsite.com/website>



ボランティアグループの活動紹介

大分市ボランティアセンターには、様々な分野でボランティア活動をする団体や個人の方々が登録されています。

令和2年7月末現在の登録者数 293団体 8,746人 個人 463人

(大分市ボランティアセンターのホームページにグループ名簿が公開されています)



劇団「希望」

劇団「希望」の活動は大分県社会福祉介護研修センターの介護技術講師によって結成されました。高齢化社会の中で問題になっている「認知症」について、言葉で伝えるよりも動きで表現した方が分かりやすいのではないかと話し合っ、劇団を平成17年10月より立ち上げ、活動しています。

高齢化が進む現代、「認知症」になっても住み慣れた所で暮らすにはお互いが声をかけ合い、助け合っ「地域力」を高めることが大切です。劇の内容は「認知症」の方に対する接し方を、家族と地域の方がどのように関わ

り、支え合えればよいかな等を演じています。

これまで、県下各種団体・企業等で143回公演しました。この活動を通して、「認知症」に関するご理解を深めていただく機会になればと思っています。最後に上演を実施した団体の方からいただいたお礼のお手紙の一部を紹介します。

「誰もが平等に年齢を重ねて衰えていく中で、避けられないのは将来への不安です。この度の演劇から、これらの不安を一つでも多く安心に変えることが出来たのではと確信しております。」

代表 山崎 佳子



公益社団法人「認知症の人と家族の会」



「認知症の人と家族の会」は全都道府県に支部があります。大分県支部は、本年結成30周年を迎えます。

「認知症になっても安心して暮らせる社会実現」を理念に掲げ、社会保障や介護保険制度の充実を求める社会運動としての活動と、認知症になった苦しみや不安、介護者としての戸惑い、つらい思いを話し合い励まし合い、人の暮らしや命に寄り添う活動の二つのことを基本に県内各地での活動を広めてきました。(会員は3月31日現在430名)

【具体的な活動内容】

①介護者の集い

県下市町村18ヶ所で、毎月集いを開催。介護者が様々な思いを語り合うことで、問題解決の糸口を見出すことができます。どなたでも参加できます。

②電話相談

実施日時 毎週火～金 午前10時から午後3時まで

③本都会報「ぼ～れ ぼ～れ」支部会報「赤いりぼん」の発行

認知症に関する最新情報や本人や介護家族の声を掲載・発信しています。

④アルツハイマー記念行事

9月21日のアルツハイマーデー前後に、県下11ヶ所で、リーフレット配付や記念講演会を開催し、認知症の普及啓発をしています。

代表 中野 洋子



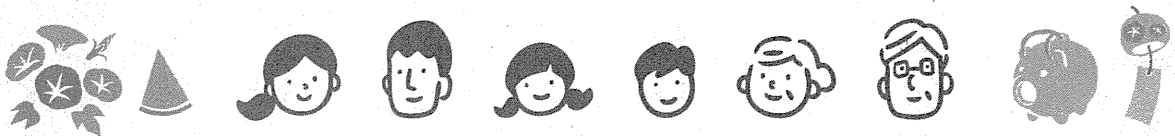
「令和2年度夏のボランティア体験月間」について

大分市社協では受付を中止しました。

毎年、本事業にご協力いただいている関係者の皆様におかれましては、新型コロナウイルスの感染予防の対応に尽力されていることに敬意を表します。

今年度の体験事業につきましては、感染予防と中学・高校の夏休みが縮小されることを鑑み、大変残念ですが中止とさせていただきます。誠に申し訳ありませんが、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

なお、9月以降の状況をみて安全にボランティア活動が出来るかと判断される場合は、大分市内で年間を通して活動できる施設のご紹介をいたしますのでボランティアセンターのホームページをご覧ください。



ボランティア活動保険における新型コロナウイルスの取扱いの改定について

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、皆さまの活動にも大きな影響が生じていることと存じますが、この度、ボランティア活動保険の特定感染症に指定感染症（新型コロナウイルス）を追加し、補償の対象といたしましたので、ご案内いたします。（2月1日に遡って補償します。）

ケガの補償《抜粋》

ボランティア活動中にボランティア自身が特定感染症に罹患した場合に補償します。

補償される保険金の種類	補償区分	保険金額
①葬祭費用実額 (死亡の場合、300万円限度)	葬祭費用	実費 (300万円限度)
②後遺障害保険金	後遺障害保険金	1,040万円 (限度額)
③入院保険金	入院保険金日額	6,500円
④通院保険金	通院保険金日額	4,000円
※R1年度Bプランの場合は保険金額が異なります。		

※特定感染症：感染症予防法（感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律）による分類

一類感染症

エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘瘡（天然痘）、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱

二類感染症

急性灰白髄炎（ポリオ）、結核、ジフテリア、SARS、鳥インフルエンザ（H5N1）、MERS

三類感染症

コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症（O-157）、腸チフス、パラチフス

※新型インフルエンザは補償されません。（感染症予防法で「新型インフルエンザ等感染症」に分類）

よくあるご質問（Q&A）

- Q1 ホテルでの隔離や自宅での療養の場合は？
A1 新型コロナウイルスに感染し、医師の指示のもと軽症や無症状の方等がホテル等の臨時施設または自宅療養する場合は「入院」とみなし保険金をお支払いします。
- Q2 活動中に新型コロナウイルスに感染したかの判断は？
A2 新型コロナウイルスに感染したと想定される付近の日に活動実態があるか、活動以外に感染要因となる事象（院内感染、クラスター等）がないか等確認させていただいたうえで、保険会社が判断します。
- Q3 「福祉サービス総合補償」の感染症の補償との違いは？
A3 「福祉サービス総合補償」の感染症の補償では肺炎を発症しないと補償の対象となりません。一方、ボランティア活動保険では肺炎を発症しなくても対象となります。また、補償される保険金の種類や金額も異なりますので、ご注意ください。

こちらは概要のご案内となります。詳細につきましては「ふくしの保険ホームページ」(<http://www.fukushihoken.co.jp>)をご参照ください。

<取扱代理店>株式会社福祉保険サービス

〒100-0013東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル

TEL 03-3581-4667 FAX 03-3581-4763 (受付時間：平日9:30～17:30)

<引受保険会社>損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部第二課

〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1

TEL 03-3349-5137 FAX 03-6388-0154 (受付時間：平日9:00～17:00)

ボランティア活動保険等についてのお問合せは、株式会社 福祉保険サービスまでどうぞ。

TEL/03-3581-4667 FAX/03-3581-4763 URL <http://www.fukushihoken.co.jp>

ボランティアだより 発行元・お問い合わせ

社会福祉法人 大分市社会福祉協議会 地域福祉課 大分市ボランティアセンター

〒870-0839 大分市金池南1丁目5番1号 J:COMホルトホール大分4階

TEL: (097) 547-7419 FAX: (097) 547-9559 E-mail: volun@oita-syakyo.jp

開所日時：月～土曜日 9時～18時 【ただし、第2・4月曜日（祝日の場合は翌日以降の平日）及び祝日、12月28日～1月3日は除く】